

「飯盒炊さん」

今日、1年生は校外学習として、千葉県野田市にある清水公園にでかけ、飯盒炊さんとフィールドアスレチックを行った。1年生は9月の魚沼自然教室で飯盒炊さんを予定していたが、台風が接近したために、実施することができなかった。残念に思う生徒の声も聞いた。そこで、今回の校外学習に取り入れることにした。

さて、飯盒炊さんといえば、カレーライスだ。一品で十分においしく、ボリュームのある食事ができる。係の方から説明を受けた後、食材を切るところから始まる。日頃から包丁の扱いになれている生徒とそうでない生徒では、大きな差がある。カレーだから多少雑でもいいと思うが、生徒は一つ一つ丁寧に食材を切っている。

かまどに火を入れる。青白い煙が立ち始める。うちわで扇ぐと、白い灰が舞い上がる。薪の炎の近くにいる機会は、今までなかっただろう。火をつけるのに苦労した班もあったが、火を消すことはなかった。ただ、かまどの前に班員がみんな集まっている。火を保つ係と鍋を管理する係、飯盒の係だけで十分なのに。その時間に、まな板や包丁を洗い、調理テーブルをきれいにしておけばいいのと思うのだが。よほどみんな、かまどのことが気になったのだろう。最も早は仕上がったのは4組の班で、11時には出来上がっていた。4組は風向きが良かったのか、着火も早かったためか。一方、2組は風向きが悪かったようで、かまどでの調理に手間取り、4組のすべての班が食べ始めたときでも、まだ仕上がっている班はなかった。

生徒の様子を見てみると、みんなで協力してカレーを作り上げていた。楽しい時間であったと思う。また、1年生は夏季休業中の課題として、我が家のオリジナルカレーを考えた。この飯盒炊さんでは班ごとに隠し味を加えてもいいことにした。カレーの出来はどうか。カレースープに近いような水っぽい班もなく、上手に仕上がっていた。また、ごはんは飯盒で作っているので、おこげもできる。おこげができた班もあったが、どの班もおいしいご飯が炊きあがっていた。ほとんど残さず、きれいに食べ終える。午後は、フィールドアスレチック。この続きは次回に。

11月17日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 A、B 2つの容器におのおの600gの食塩水が入っています。いま、AからBへ200g移し、よく混ぜてからBからAに200gもどすと、Aの濃度は5%になりました。Bの最初の濃度が10%のとき、Aの最初の濃度を求めなさい。